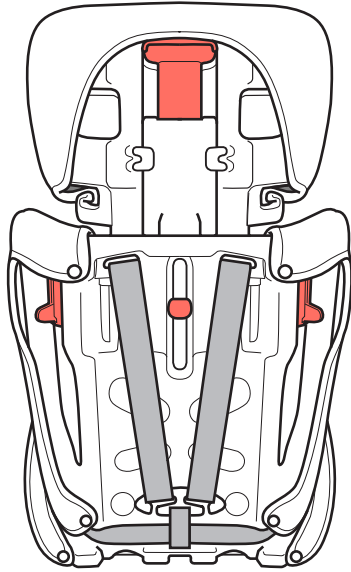


Me
HGデニム・ハーネス
チャイルドシート



販売元

株式会社 西松屋チェーン

〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

製造輸入元・お客様相談窓口

株式会社シーエー産商

☎0120-034-017

受付時間 AM10:00~12:00・PM1:00~PM5:00(月曜日~金曜日※弊社休日を除く)
〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

MADE IN CHINA 2019-11

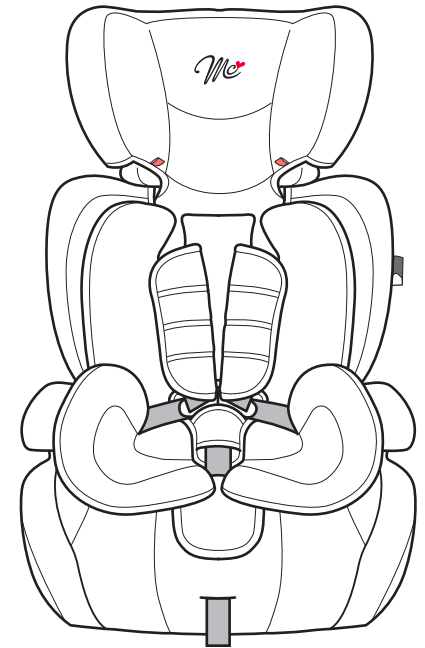
Me

HGデニム・ハーネス
チャイルドシート

取扱説明書 / 保証書

ご使用の前に必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき十分ご理解された上で記載の内容に従って正しくご使用ください。

- ご使用になる前に..... 1
 - 本装置をご使用いただけるお子様の目安
 - 取り付けできない座席
 - 取り付けできるシートベルト
 - 取り付けできないシートベルト
- 使用上の警告・注意..... 3
- 各部の名称..... 5
- 組み立て方..... 7
- 各部の使い方..... 8
 - バックル・タング..... 8
 - インナークッション..... 8
 - ヘッドサポート..... 9
 - 肩ベルト..... 10
- チャイルドシートとしての使い方..... 11
- ハイバックシートとしての使い方..... 15
 - 取り付ける前に
 - 取り付け方
- お子様の乗せ方・降ろし方..... 17
- お手入れ..... 19
 - 取り外し方
 - 取り付け方
 - カバー・パット・クッション
 - 本体・ベルト・バックル等
- 保証書..... 22



※本書に使用しているイラストは、取り扱い方や使い方をわかりやすくするため実際とは多少異なる場合があります。

シートを傷めるおそれがあるため、**本革シートの車両**はそのまま取り付けしないでください。取り付けの場合は、保護シート等を敷いてからお取り付けください。(別売)

ご使用になる前に

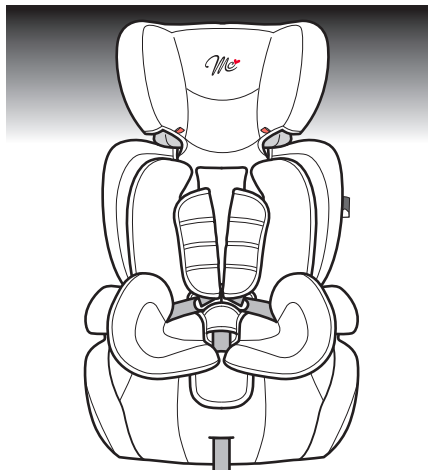
- 本装置は、「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、安全規格(UN ECE R44/04)で試験を受け認可されており、一部を除きほとんどの車両に適合します。
 - 車両製造者の車両ハンドブックに当該車両が、この年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、本装置が正しく取り付けられます。
 - 本装置は、3点式巻き取り機能付・巻き取り機能のないシートベルトを装備している座席にご使用できます。(2点式シートベルトの座席には使用できません。)
- ※ご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

本装置をご使用いただけるお子様の目安

チャイルドシート

〈グループI〉

車両のシートベルトで本装置を固定、本装置のベルトでお子様を拘束します。



〈適応体重〉

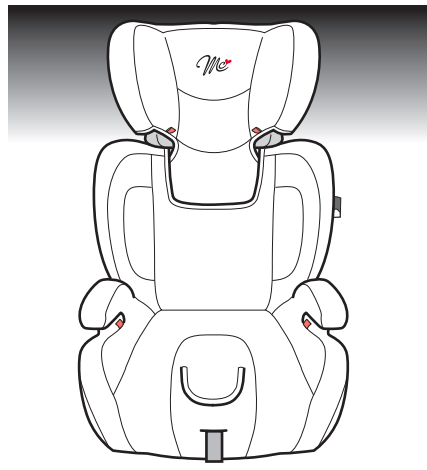
9kg以上 18kg以下

- 年齢の目安…1歳頃～4歳頃
- 身長目安…75～100cm以下

ハイバックシート

〈グループII,III〉

本装置のベルトを取り外し、車両のシートベルトでお子様を拘束します。



〈適応体重〉

15kg以上 36kg以下

- 年齢の目安…3歳頃～11歳頃
- 身長目安…95～138cm以下

※「年齢・身長目安」は、あくまでも「目安」です。体重条件を満たしていないお子様は、ご使用いただけません。

本書を読んでいただくためのポイントマークについて

下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください。

警告

事故につながったり、生命の危険・重大な傷害のおそれがある事を記載しています。

注意

安全のため、ご注意ください。いただきたい事を記載しています。

補足

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたい事を記載しています。

✕ 図に表示している行為の禁止を示しています。

取り付けできない座席

- シートベルトがついていない座席
- チャイルドシートで運転に支障をきたす座席
- 2点式シートベルトがついている座席
- エアバッグがついている座席
- 横向き・後ろ向きの座席

取り付けできるシートベルト

〈ELR式シートベルト〉…緊急ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト
ゆっくり引き出すと自由に入りますが、急に引き出したり急ブレーキ等のショックが加わるとロックするシートベルト。

〈AELR式シートベルト〉…チャイルドシート固定機能付シートベルト
すべて引き出した後で巻き戻すと、チャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなるシートベルト。(シートベルトをすべて巻き戻すと解除される)

〈NLR式シートベルト〉…非ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト
ロック機能がなく、すべて引き出して長さを調整するシートベルト。

〈ALR式シートベルト〉…自動ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト
引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ引き出せなくなるシートベルト。

〈マニュアル式シートベルト〉
巻き取り機能のない3点式シートベルト。

取り付けできないシートベルト

〈腰ベルトに付いたELR式シートベルト〉
腰ベルト側にELRが付いているシートベルト。

〈2点式シートベルト〉
肩ベルトがない腰ベルトのみのシートベルト。

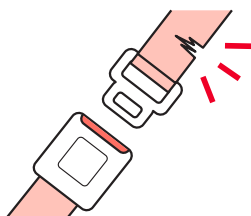
〈パッシブシートベルト〉
前部座席に座りドアの開閉により、自動的に装着・解除されるタイプのシートベルト。

使用上の警告・注意

記載内容を守らないと、生命の危機、または重大な傷害につながるおそれがあります。

警告

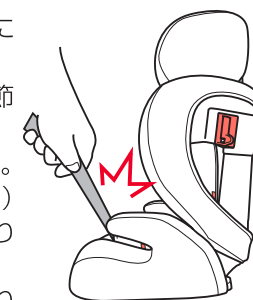
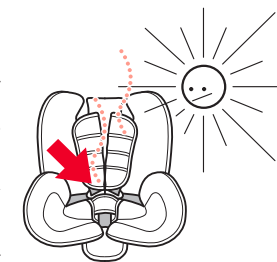
- ①本装置は『取扱説明書』通りに取り付けてください。
- ②車両のシートベルトや座席の種類・形状により、『取扱説明書』通りに取り付けできない場合は、使用しないでください。
- ③本装置のベルトが緩んだ状態で、使用しないでください。ベルトに緩みがあると首に巻き付いて窒息するおそれがありますので、必ず正しい長さでご使用ください。
- ④お子様がバックルボタンを押してベルトを外したり、ベルトから抜け出ないように時々ロック部分の確認をしてください。
- ⑤車両のシートベルトや本装置のベルトを傷つけないように注意してください。傷ついた場合、衝撃時に十分な効果が得られない場合がありますので、使用しないでください。
- ⑥衝突等により本装置が強い衝撃を受けた場合、破損のおそれがありますので使用しないでください。
- ⑦拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類・付属金具等を外して使用しないでください。(インナークッションを除く)
- ⑧お子様を本装置に乗せてセットする際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせて、適切な位置で拘束されるようにしてください。
- ⑨走行中にお子様の乗せ降ろし(乗り降り)や、本装置の調節等は絶対にしないでください。
- ⑩本装置を取り付けた後に、車両の座席の移動や調節をしないでください。固定が緩む可能性があります。
- ⑪本装置の部品やベルト等を鋭利なもので傷つけないでください。切れたり欠けたりしていると、機能が正常に働かない場合があります。
- ⑫お子様を乗せたまま車両から離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。
- ⑬本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になるおそれがあります。
- ⑭お子様の負担を考え1時間以上連続して使用しないでください。



記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

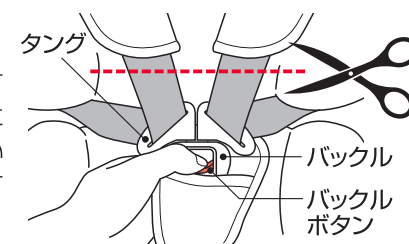
注意

- ①本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
- ②本装置に日光が当たりますと、熱くなってお子様がやけどをするおそれがありますので、大人が金属部分・樹脂部等に触れて、熱くなっていないかを確認してください。
- ③お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がったたり、中腰にさせないようにしてください。
- ④本装置のバックルや可動部分に、水やジュース等をかけないでください。部品の故障につながります。
- ⑤車両内に傷害を与える可能性のあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをするおそれがあり危険です。
- ⑥本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ず車両のシートベルトで固定してください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が移動してケガをするおそれがあります。
- ⑦本装置が車両の座席やドアに挟まれたりしないように注意してください。
- ⑧肩ベルト調節ストラップを上引っばると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。
- ⑨本装置を取り付ける座席には何も置かないでください。(本革シート等のシートを保護するためのマットは除く)座面がぐらついてしっかり取り付けられない場合があります。
- ⑩改造・修理はしないでください。破損・故障の原因になります。

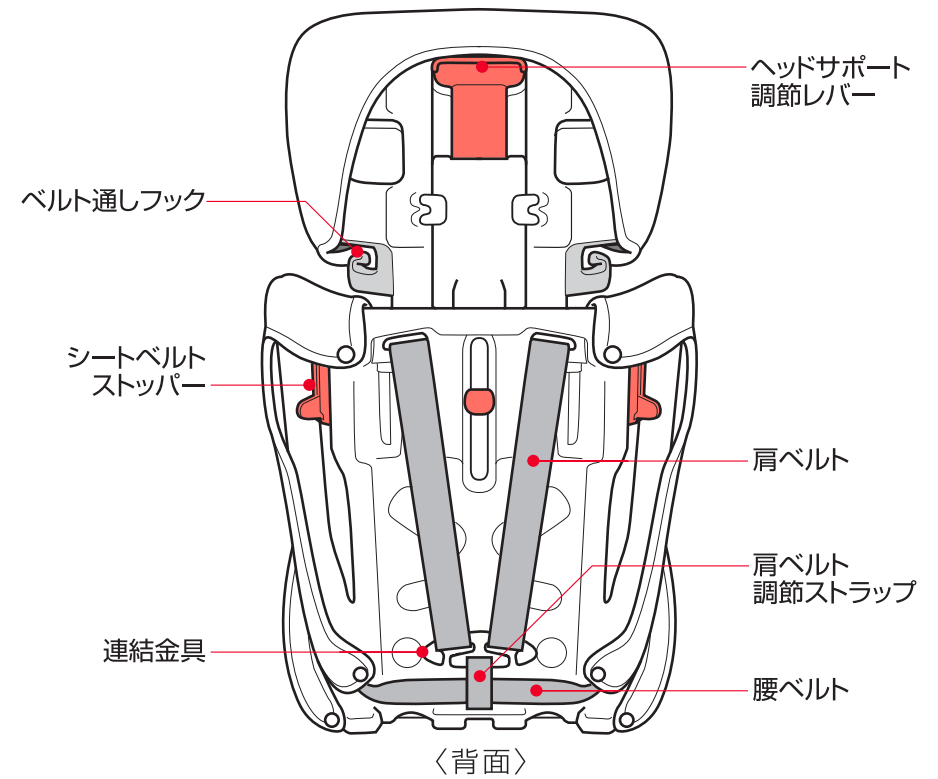
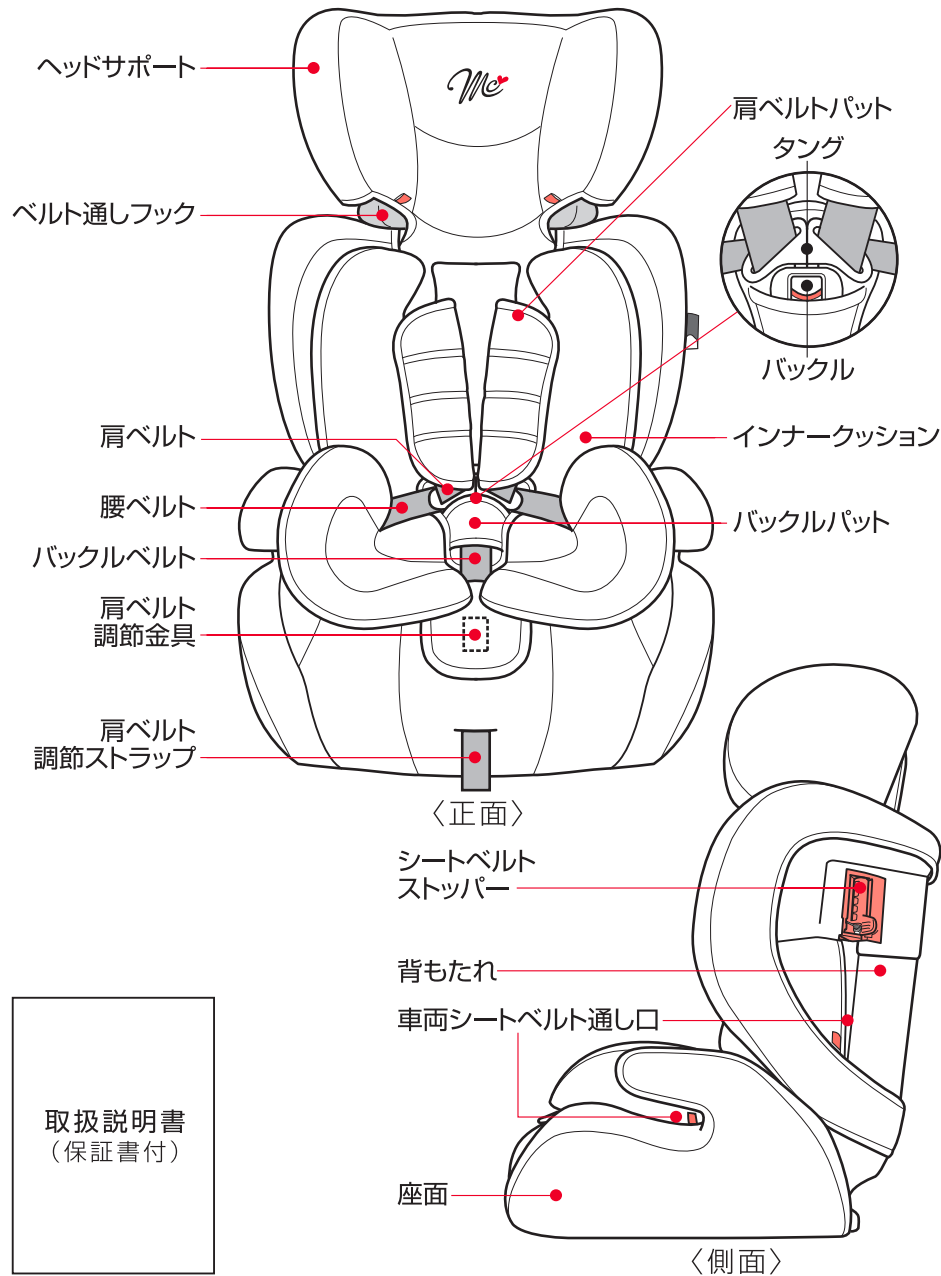


〈緊急時のご対応について〉

緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。バックルボタン(赤いボタン)を下に押ししても、タングがバックルから解除できない場合は、本装置のベルトをはさみ等で切ってお子様を降ろしてください。



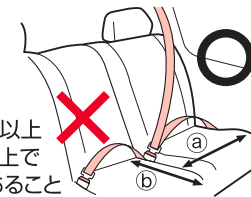
各部の名称



車両取り付け可能箇所

- 取り付け可能
- ✕ 取り付け不可

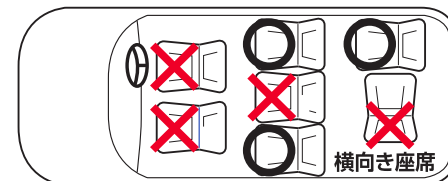
※座席の幅@40cm以上
奥行き@43cm以上で
座面がフラットであること



●助手席にはエアバッグが装備されています。エアバッグの作動により大きな衝撃を受けるおそれがあるため、**後部座席**に取り付けてください。

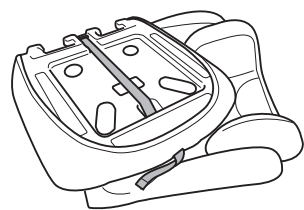
●進行方向に対し、**後ろ向き・横向き**の座席には取り付けられません。事故の際、装置の機能が有効に発揮できません。

●2点式シートベルトの座席は、**取り付けられません**。



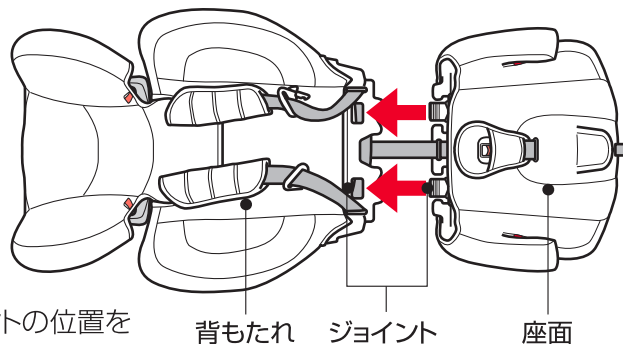
取扱説明書
(保証書付)

組み立て方

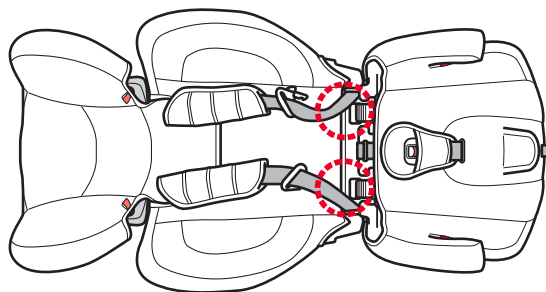


1

背もたれと座面のジョイントの位置を合わせ、座面のジョイントを背もたれのジョイントに差し込みます。

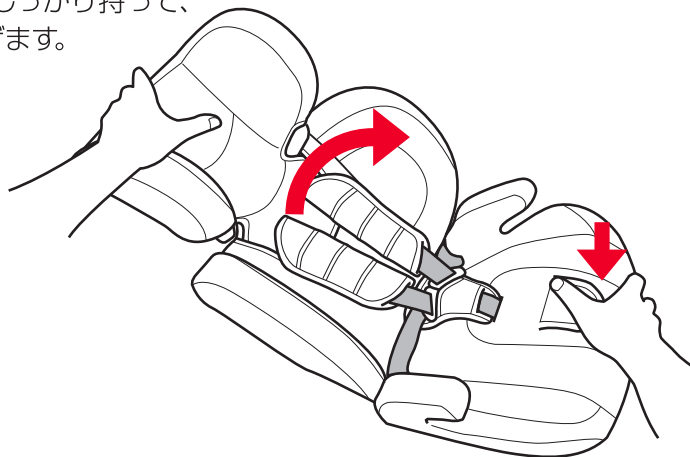


注意 ジョイントに差し込む際にベルトがねじれていないか、背もたれと座面の間に挟まっていないかを確認してください。



2

背もたれと座面をしっかり持って、背もたれを引き上げます。

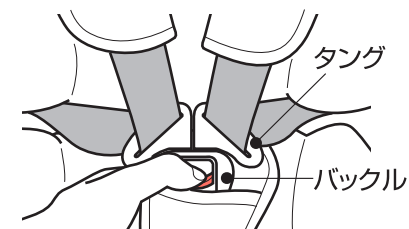


※引き上げるときにスムーズに上がらない場合は、再度確実に差し込んでから引き上げてください。無理に引き上げると破損のおそれがあります。

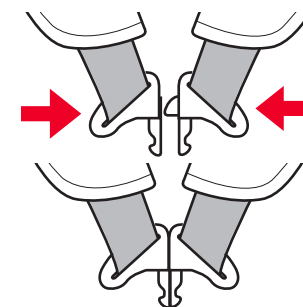
各部の使い方

バックル・タング

バックルパットを下げ、バックルボタン(赤いボタン)を押して、タングをバックルから解除します。

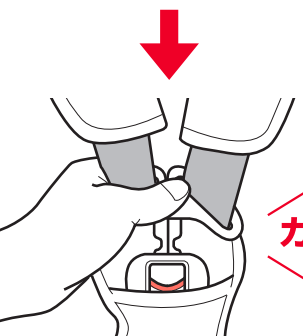


お子様が座れるようにタングを左右に開き、バックルを前に倒します。



お子様を座らせ、左右の肩ベルトを掛け、タングを合わせます。

タングをバックルに「カチッ」と音がするまで確実に差し込み、バックルパットを上げます。



警告 バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたことを確認してください。



注意 タングの接合部に強い力を加えないでください。破損するおそれがあります。

補足

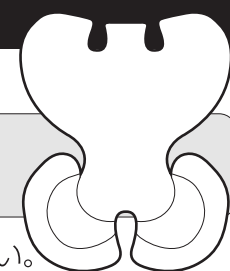
バックル内に飲み物や食べかす等が入ると、バックルの機能を損なうおそれがありますので、水分・ゴミは取り除いてください。

インナークッション

インナークッションは、リバーシブルタイプになっています。

表：ニット生地(柔らかい肌触りです)

裏：メッシュ生地(通気性に優れています)

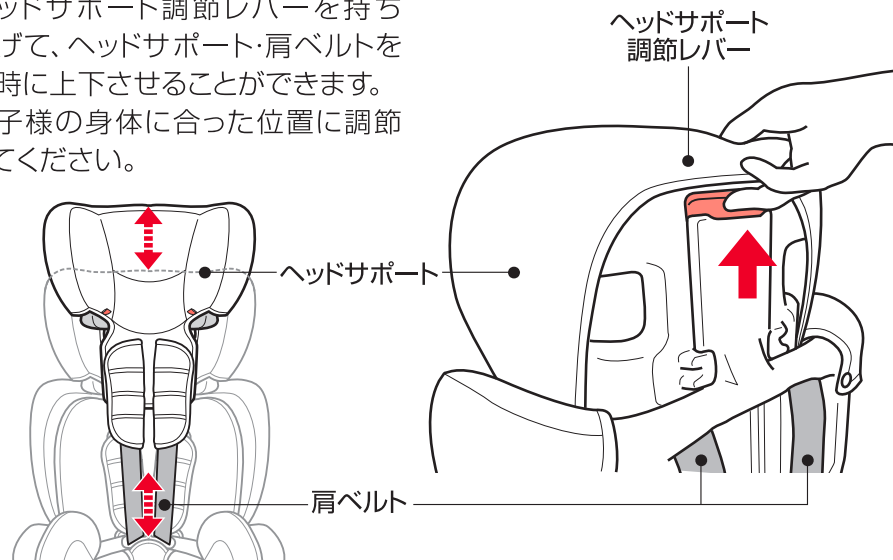


13kg未満のお子様は、インナークッションをご使用ください。

ヘッドサポート

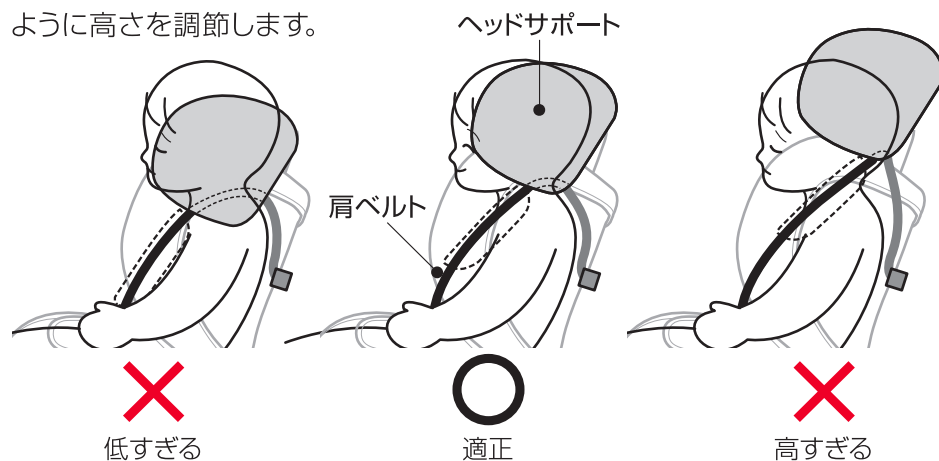
ヘッドサポート(肩ベルトと連動)の調節方法と高さ調節の目安

ヘッドサポート調節レバーを持ち上げて、ヘッドサポート・肩ベルトを同時に上下させることができます。お子様の身体に合った位置に調節してください。



●高さ調節の目安

肩ベルトの出口がお子様の肩の高さと同じか、やや高い位置になるように高さを調節します。



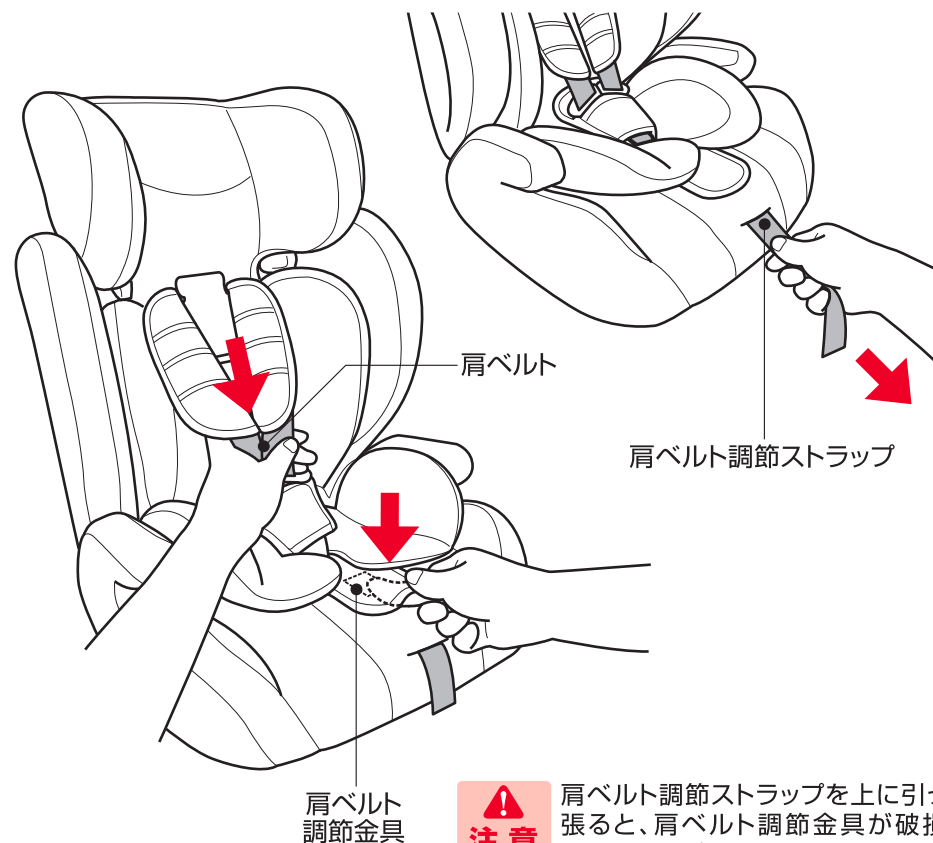
肩ベルト

●肩ベルトを緩める

肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルトを持って下側に引っ張ります。

●肩ベルトを締める

肩ベルト調節ストラップを、手前にゆっくり引っ張ります。



注意 肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

注意 左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

補足 肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

チャイルドシートとしての使い方

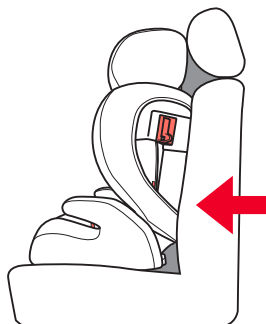
GROUP I...9kg以上 18kg以下 [3点式シートベルト]

1

本装置を車両の座席に置き、本装置の背もたれと車両の座席との間に大きな隙間がなく接していることを確認してください。

また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。

※本装置に車両のヘッドレストが干渉して隙間ができる場合、車両のヘッドレストを上にあげるか取り外してください。車両のヘッドレストが取り外せなくて、本装置と当たる座席には取り付けできません。

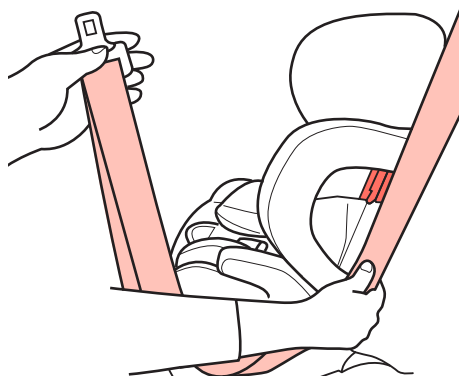


注意 車両の座席の背もたれと本装置との間に隙間がないようにしてください。

2

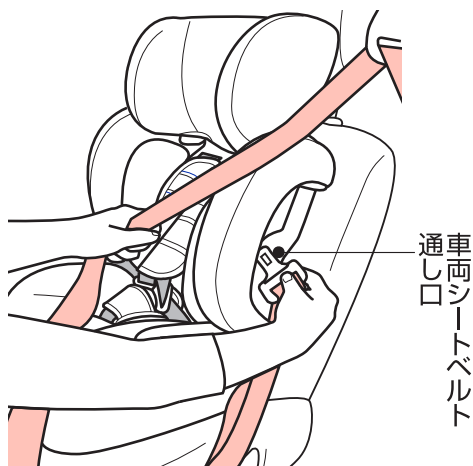
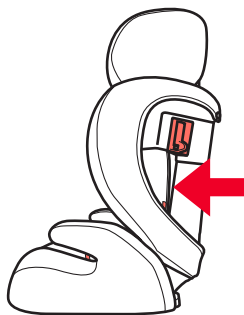
車両のシートベルトを目一杯引き出してください。

補足 車両の肩ベルトが巻き戻らないように、注意しながら取り付けをしてください。



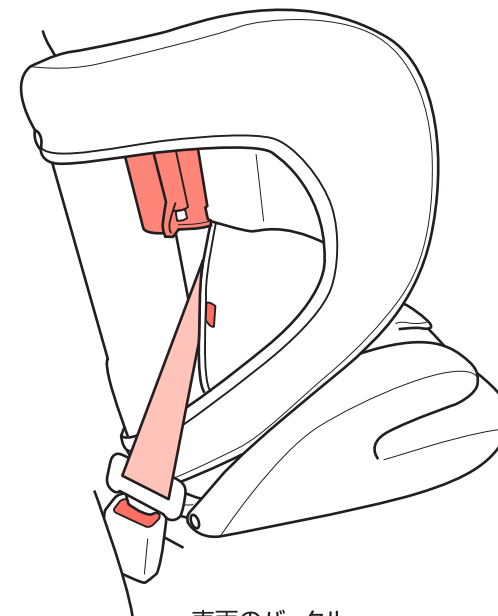
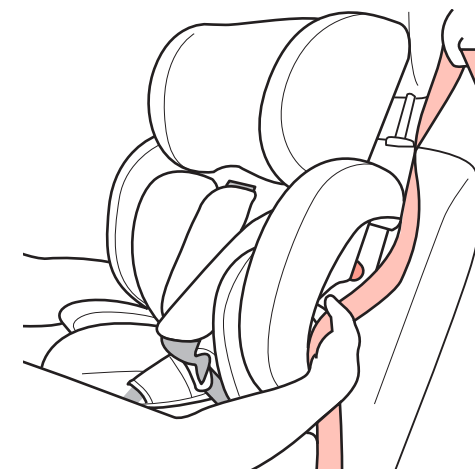
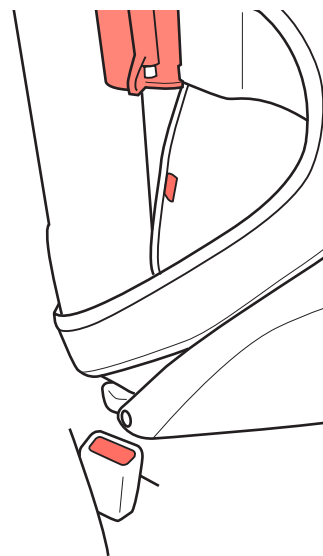
3

車両シートベルト通し口(本装置の背もたれと本体カバーの間)に、車両のシートベルトを反対側に通します。



4

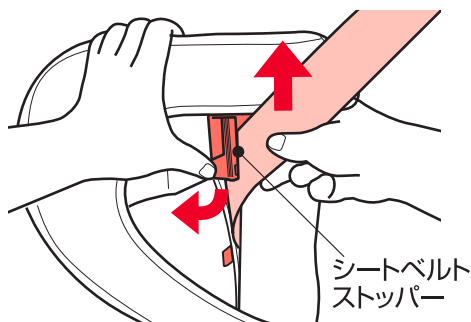
車両シートベルト通し口に通した車両のシートベルトを、反対側に引き出し、シートベルトがねじれていないことを確認してから車両のバックルにセットしてください。



警告 車両のバックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたことを確認してください。

5

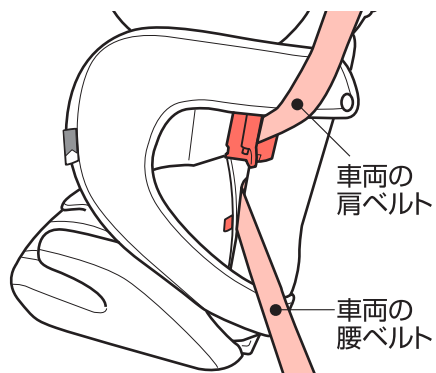
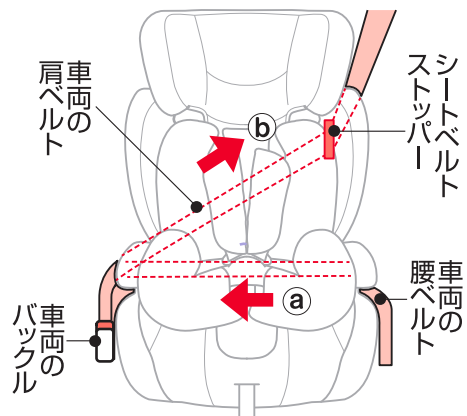
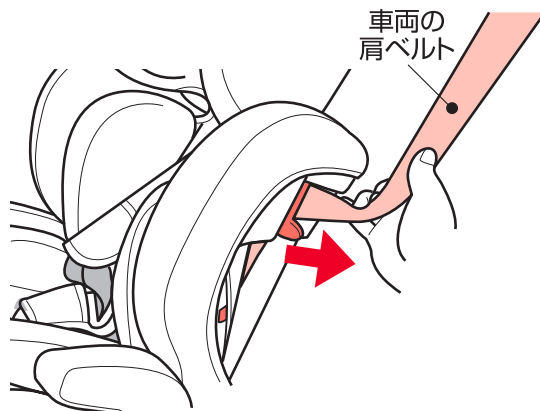
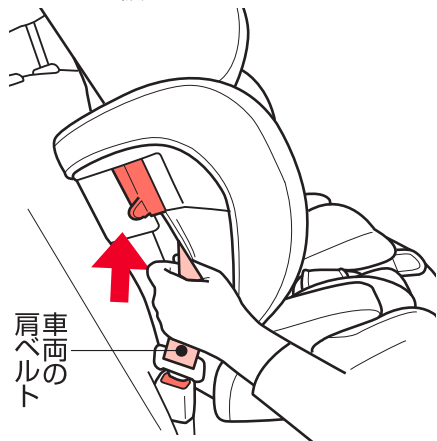
車両のシートベルトがピンと張るように巻き戻し、車両の肩ベルトをシートベルトストッパーで固定してください。



シートベルトストッパー

6

車両の腰ベルトを引っ張り(㉑)、車両の肩ベルトを巻き戻して(㉒)シートベルトを緩みをなくします。



7

本装置の座面の上から体重をかけ、車両の座席に押し付けて車両のシートベルトを締め付けます。



セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが、確実にセットされていること。
- 車両のシートベルトに、ねじれやたるみがないこと。
- 車両のシートベルトが、シートベルトストッパーに確実に固定してあること。
- 本装置を前後に軽く揺すって、ぐらつきがなく安定していることを確認すること。



警告

上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せず危険です。

補足

車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席位置を調整して、再度取り付けてください。

補足

本装置を車両の背もたれに押し付けぐらつきがなく、しっかり固定されていることを確認してください。

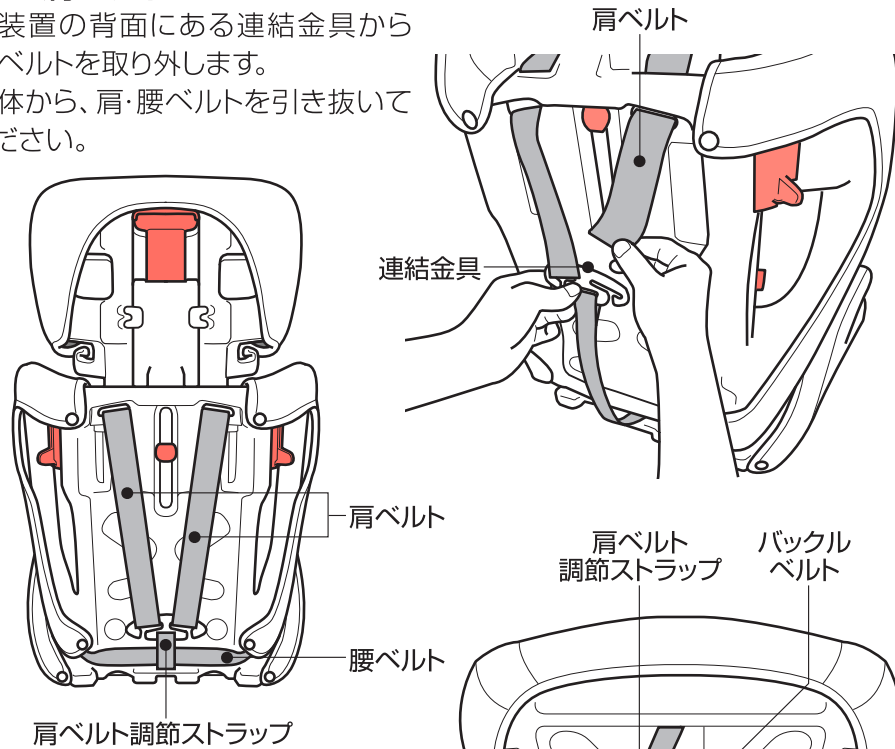
ハイバックシートとしての使い方

取り付ける前に

肩ベルト・インナークッションを取り外します。

1…肩ベルト

本装置の背面にある連結金具から肩ベルトを取り外します。本体から、肩・腰ベルトを引き抜いてください。



2…バックルベルト

本装置の底面にある取付金具・バックルベルトを、座に通して取り外します。



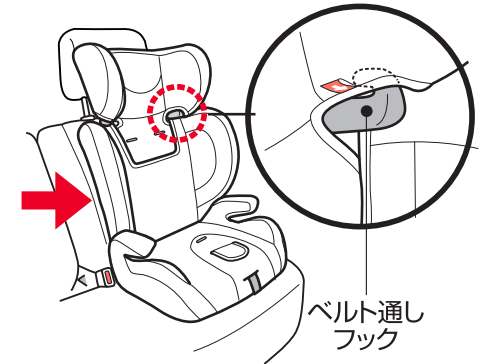
注意 肩ベルト調節ストラップは引き抜かず、小さく折りたたんでください。

GROUP II, III…15kg以上36kg以下[3点式シートベルト]

取り付け方

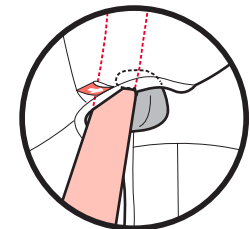
1

本装置を車両の座席に置き、本装置の背もたれと車両の座席との間に大きな隙間がなく接していることを確認してください。また、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。



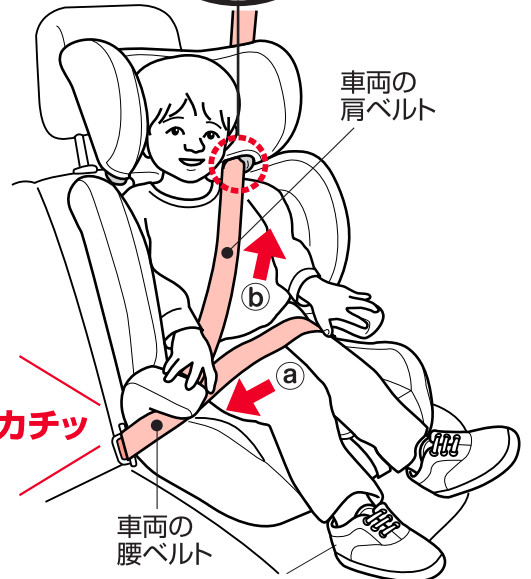
2

お子様を深く座らせ、ベルト通しフックに車両の肩ベルトのねじれがないように、お子様の首に掛からないように注意して通してください。



3

車両の腰ベルトがお子様の骨盤の低い位置にかかるように、タングとバックルをセットします。バックルが、「カチッ」と音がするまで差し込みます。



4

車両の腰ベルトを引っ張り(Ⓐ)、車両の肩ベルトを巻き戻して(Ⓑ)シートベルトの緩みがないように装着してください。

注意 お子様の手や腕を車両のシートベルトで挟まないように、車両のシートベルトの上になるようにしてください。

お子様の乗せ方・降ろし方

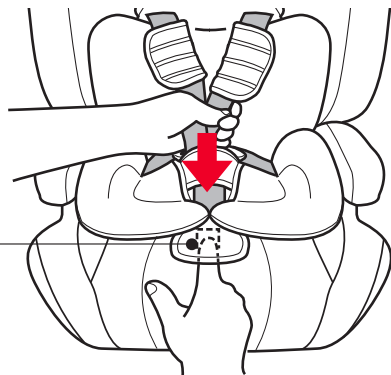
GROUP I...9kg以上18kg以下の場合

お子様の乗せ方

1

肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルトを持って手前に引っ張り、肩ベルトを緩めます。

肩ベルト調節金具

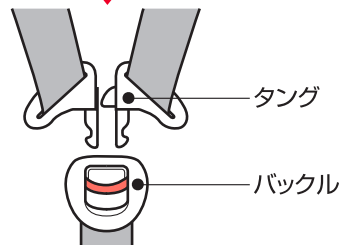
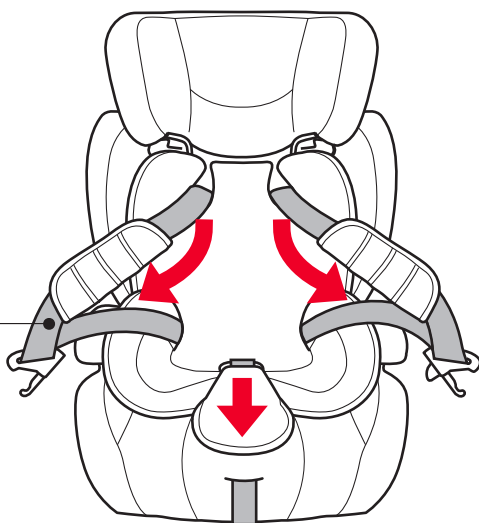
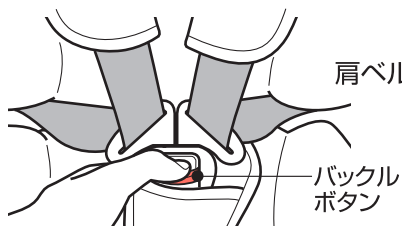


2

バックルパットを下げ、バックルボタン（赤いボタン）を押して、タングをバックルから解除します。肩ベルトを左右に開き、バックルを前に倒し、お子様が座れるスペースを確保します。

肩ベルト

バックルボタン



注意

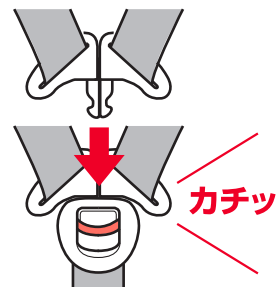
左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

補足

バックル内に飲み物や食べかす等が入ると、バックルの機能を損なうおそれがありますので、水分・ゴミは取り除いてください。

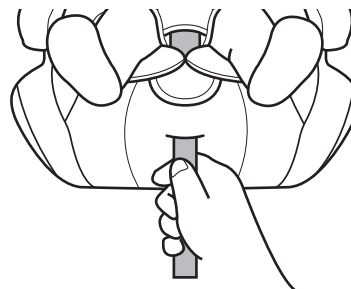
3

バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせます。左右のタングを合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込みます。



4

腰ベルトに緩みがないことを確かめてから、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張って、肩ベルトを締め、お子様を拘束します。



警告

バックルが確実に固定されていることを、必ずご確認ください。

注意

肩ベルトにねじれができないように、また指をはさまないように十分注意してください。タングの接合部に強い力を加えると破損するおそれがあります。

補足

調節の目安は、お子様の肩とベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

注意

肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

お子様の降ろし方

肩ベルト調節金具を押しして肩ベルトを緩めます。バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトを左右に開きます。

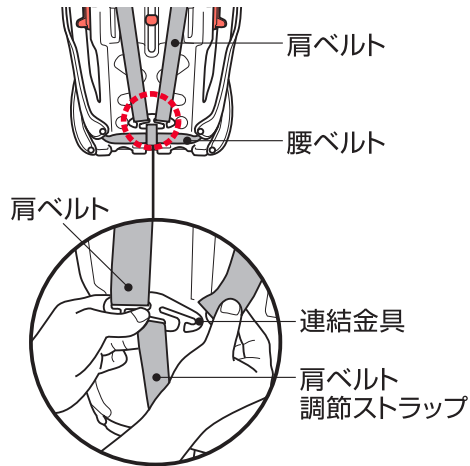
お子様の腕を肩ベルトに引っかからないように注意しながら、ゆっくりとお子様を降ろしてください。

お手入れ

取り外し方

■肩・腰ベルトを外す

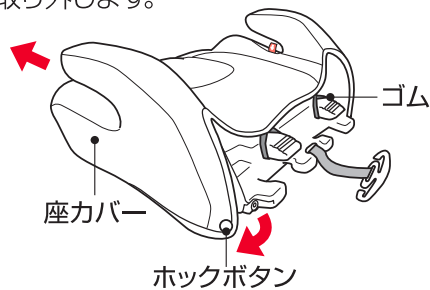
本装置の背面にある連結金具から肩ベルトを取り外し、本体から肩・腰ベルトを引き抜きます。



注意 肩ベルト調節ストラップは、取り外さないでください。

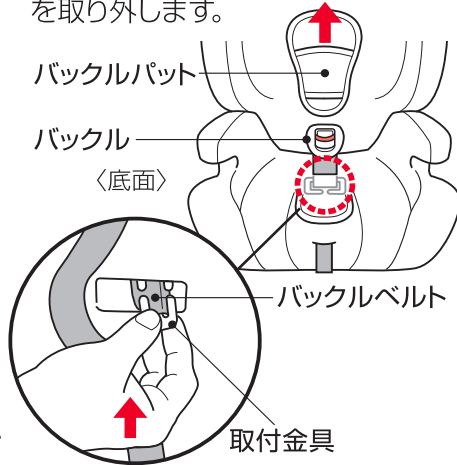
■座カバーを外す

座カバーは下部のホックボタンとジョイントに掛かっているゴムを外して取り外します。



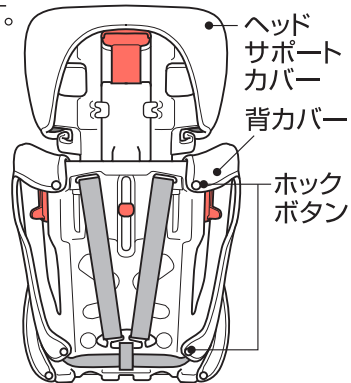
■バックルを外す

座面裏側にある取付金具・バックルベルトを、座面表側に通してバックルを取り外します。



■ヘッドサポートカバー・背カバーを外す

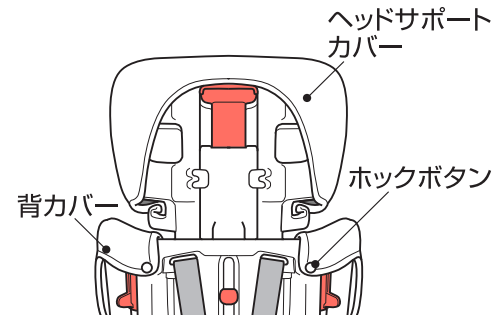
ヘッドサポートカバーを本体より取り外し、背カバーは、背面上・下部のホックボタンを外して本体より取り外します。



取り付け方

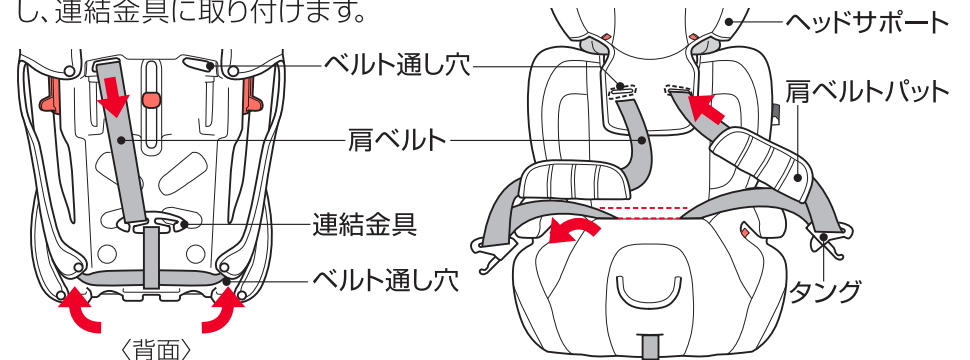
■ヘッドサポートカバー・背カバーを取り付ける

ヘッドサポートカバーを本体に取り付け、背カバーは背面上・下部のホックボタンを付けて本体に固定します。



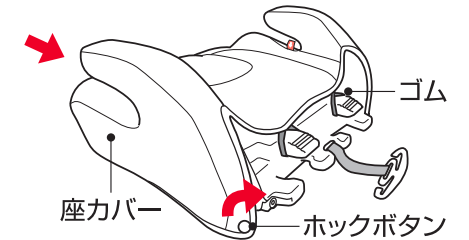
■肩・腰ベルトを取り付ける

背面から下側のベルト通し穴に肩・腰ベルトを通します。正面に引き出した肩・腰ベルトにタング・肩ベルトパットを通します。ヘッドサポートと本体のベルト通し穴の位置を合わせ、肩ベルトを通し、連結金具に取り付けます。



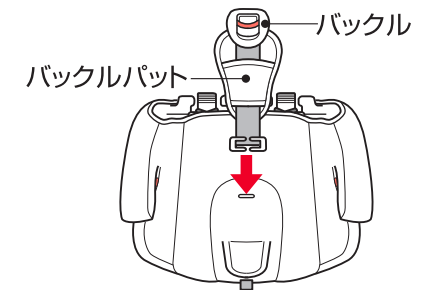
■座カバーを取り付ける

座カバーを取り付け、下部のホックボタンとジョイントに掛かっているゴムを付けて固定します。



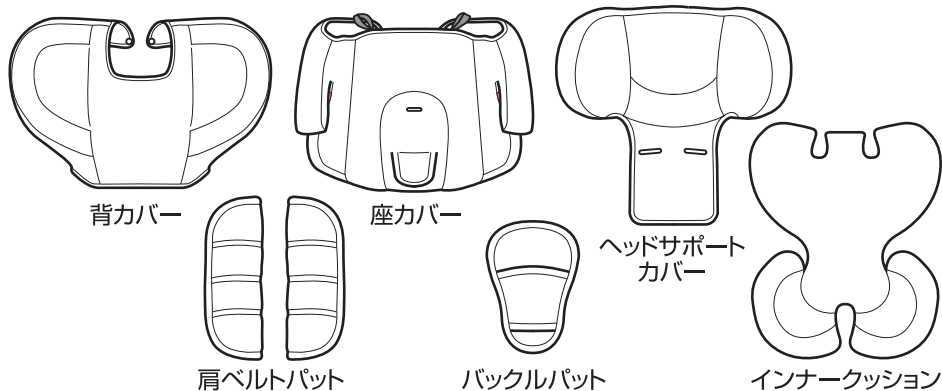
■バックルを取り付ける

座面裏側に取付金具・バックルベルトを通して取り付けます。



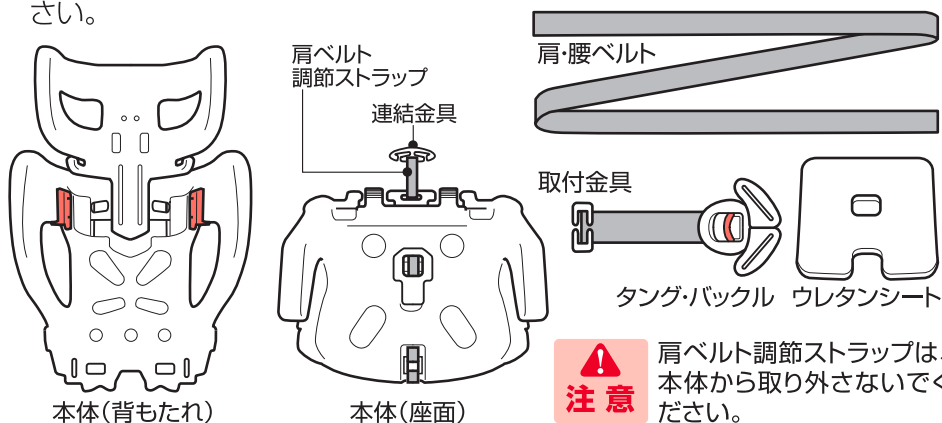
カバー・パット・クッション

- 中性洗剤を使い、押し洗いしてください。
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- アイロンがけはしないでください。
- 脱水機・乾燥機等は使用せず、タオル等で水分を十分取り、風通しのよい日陰で干してください。



本体・ベルト・バックル等

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- バックル・タングに付いた水分や汚れは、しっかり拭き取って乾かしてください。



注意 肩ベルト調節ストラップは、本体から取り外さないでください。